生環ミニ情報

生活環境をクリエートする

(有)生環システム TEL 096-339-5202

鉄鋼・金属加工場にアイシネン (その1)

16 - 04 - I

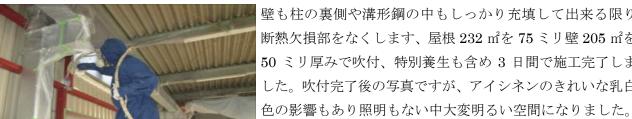
大型の鉄鋼・金属加工場と云えば、暑い・寒い・騒音でうるさく、暗いのが当たり前ですが、アイシ ネンで壁・屋根を吹付断熱することによりどのように変わるでしょうか?



工場と云えば鉄骨造でスレートの波板の屋根・壁が定番でし た、最近はほとんど折版屋根に壁もガルバーなどの金属製に なりました、そうですアルミに次いで熱を通す建材です。 つまり結露を起こしやすく、音も反射します。金属製の折版 には結露防止のペフ材を貼り付けますが、あくまで結露防止 しかし 10 年もすると部分的に剥がれ、そこに結露が集中し て剥がれがひどくなることが多いのです。



折版の金属面に直接アイシネンを吹き付けることで結露を 防止し屋根からの暑さ・寒さを遮断します、また大雨の場合 金属面に当たる雨音が反響してうるさく、話が出来ないほど ですが、アイシネンの吸音性から室内もかなり静かです、そ して何より自己接着性から剥がれ落ちることがありません。 (柱・梁など露出部は全て時間をかけて養生しました)



壁も柱の裏側や溝形鋼の中もしっかり充填して出来る限り 断熱欠損部をなくします、屋根 232 ㎡を 75 ミリ壁 205 ㎡を 50 ミリ厚みで吹付、特別養生も含め 3 日間で施工完了しま した。吹付完了後の写真ですが、アイシネンのきれいな乳白



工場や倉庫の場合費用を抑えるため壁を貼らない場合が多 く、貼る場合も床面から合板の 1.8mを取り付ける事が多い のです。ところがウレタン系の製品は紫外線により間違いな く茶褐色に変色します、また開放の場合スズメなど鳥が入り 込みウレタンを啄む場合があります、そこで室内の騒音を吸 収するためにも有孔ボードで内壁を貼っていただきます。 そして、今回天井面の仕上げ材に関して初めての試みとなる 提案をさせていただきました、 次回発表!



鉄骨の場合外部の仕上げ材と接する 溝形鋼が熱橋となりますが、繊維系と 違いフォームの充填は可能です、しか し左拡大写真のような窓納まりでは どうしようもありません、次回サーモ グラフィー写真で検証いたします。



この記事に関するお問合せは、(有)生環システム 森本まで Email info@seikan-s.jp 生環システム Web サイト http://www.seikan-s.jp 生環新書 http://www.seikan-s.jp/ebook/